



今朝の大雪にはビックリ！しました。しかし予想最高気温を見ると9℃？暖くなるのか？と、予報を半信半疑のまま通勤してくると雪が雨に変わり、改めて天気予報の制度の高さを実感しました。一歩ずつ桜の季節に近づいているのですね。

さて今回は「他の施設で発生した、当院でも使用している輸液ポンプ TE-161 シリーズの使用上の注意」と昨年、看護部と企画課等にお知らせをしている「ジャクソンリース回路の回収」の新たな資料が届きましたので添付します。

<輸液ポンプ TE-161 シリーズの使用上の注意>

[発生機種]

TE-161 シリーズ（現在 20 台所有）

[発生事象]

流量設定 2ml/h で使用中、流量設定変更していないのに流量設定が 500ml/h で投与されていた。

輸液ポンプの流量表示の文字が欠け、表示部内部に水滴様の曇りが見られた。電源を切り、再度電源を入れたところ「エラー 8 (操作スイッチ異常)」を表示。

[原因]

ポンプ上部の隙間から液体侵入した痕跡、基盤の腐食を確認。
これにより流量設定スイッチがショートした為、流量設定が変更されたと考えられます。



[お願い]

輸液ポンプは液体の浸入を防ぐ防水構造ではありません。液体が付着したままにしておくと内部に液体が侵入してしまう可能性がありますので……

- ①：ポンプに液体が付着した場合は、乾いた軟らかい布等で水気を拭き取ってください。
- ②：床への落下、スタンドの転倒等により衝撃が加わった場合には、使用中止してください。
外観に異常がなくても、内部破損している可能性があります。
- ③：流量・予定量・積算量表示の文字が欠けている場合は、使用中止してください。
- ④：輸液開始時には、流量設定と滴下状態を確認してください。

問題発生時は必ず CE へ知らせてください

CE Watanabe

